

平成 17 年度

〈公開シンポジウムのご案内〉

## ビシュリ山系:その研究史と研究の方向性

日時：平成 18 年 3 月 19 日（日）午後 1 時～6 時

会場：サンシャインシティ文化会館 7 階会議室（710 号室）

東京都豊島区東池袋 3-1-4

主催：文部科学省科学研究費補助金「平成 17 年度発足特定領域研究：  
セム系部族社会の形成」総括班

### 〈プログラム〉

- 午後 1 時 00 分～1 時 30 分 “Archaeological Works in Syria Today”  
（シリア共和国考古庁長官・Bassam Jammous 博士）（通訳あり）
- 午後 1 時 40 分～2 時 40 分 “The Mountain at the Core: The  
Geo-political Role of the Jebel Bishri in Early Historic  
Times”（カリフォルニア大学コッツェン・メソポタミア考古学  
研究所所長・教授 Giorgio Buccellati）（通訳あり）
- 午後 2 時 50 分～3 時 30 分 ナトゥーフ人の定住化の試み（東京大学大学  
院人文社会系研究科助手・安齋正人）
- 午後 3 時 40 分～4 時 20 分 石室墓と円筒墓：セム系部族社会の成立過程  
を墓制面から追跡する（金沢大学文学部教授・藤井純夫）
- 午後 4 時 30 分～5 時 10 分 文書史料におけるセムの系譜とビシュリ山系  
（筑波大学大学院人文社会科学研究科助教授・山田重郎）
- 午後 5 時 30 分～6 時 00 分 全体討論（司会：総括班代表者・国士舘大学  
イラク古代文化研究所教授・大沼克彦）

お問い合わせ先：国士舘大学イラク古代文化研究所大沼研究室

電話 042-736-5489 Fax 042-736-5482

メール [kaonuma@kokushikan.ac.jp](mailto:kaonuma@kokushikan.ac.jp)

**参加費無料**